

第3章 都市づくりの目標

第6次宝塚市総合計画の基本構想では、「スローガン」を掲げ、その想いに向け、「まちづくりの視点」と「都市づくりの基本的な考え方」を踏まえて、「めざすまちの姿」を定めています。

これらを実現することを目標として、本市の地勢や沿革、歴史・文化、市民意向などの現状を踏まえ、めざす将来都市像、めざす都市構造を定めます。さらに、都市づくりの課題を踏まえて、めざす将来都市像、めざす都市構造の実現のために、都市づくりの方向を定めます。

第6次宝塚市総合計画の基本構想

1. スローガン

わたしの舞台は たからづか

スローガンに込められた3つの想い

①「活動・活躍できる場」
(舞台)をつくる

②「暮らし」
(舞台)を支える

③「まち」
(舞台)を未来につなげる

2. まちづくりの視点

①活動・活躍できる場がある
まちづくり

②あらゆる人の暮らしを支え、誰もが幸せに住み続けられるまちづくり

③活力を創出し、将来を見据えた持続可能なまちづくり

3. 都市づくりの基本的な考え方

①都市構成に基づいた
都市づくり

②人口減少等を見据えた
都市づくり

③地域の特性を生かした
拠点づくり

4. めざすまちの姿

- (1) 共に創り、未来につなぐまち ～都市経営～
- (2) 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち ～安全・都市基盤～
- (3) 福祉が充実し、安心して暮らせるまち ～健康・福祉～
- (4) 子どもの生きる力が育つまち ～子ども・教育～
- (5) 豊かで美しい環境を育むまち ～環境～
- (6) 宝塚らしい“にぎわい”と文化芸術があふれる、創造性豊かなまち ～観光・産業・文化～

1. めざす将来都市像

居住環境の継承

本市では、古代から近世にかけて宿場町や農村集落が形成されたほか、近代の鉄軌道の発達と並行して沿線における住宅地開発が行われ、田園生活空間と都市生活空間からなる豊かな居住環境が形成されてきました。

これまでの蓄積を生かすとともに、新たなニーズにも柔軟に対応しながら、豊かな居住環境が継承された都市をめざします。

文化芸術の醸成

本市では、古代から中世、近代、現代、それぞれの時代において、全国的に有名な宝塚歌劇団をはじめ有形無形の文化芸術の資源が形成され、これらを生かした様々な活動が展開されています。

社会情勢や価値観の多様化・高度化に対応しながら、今後も文化芸術活動が活発に行われるような環境を醸成し、文化芸術が感じられる都市をめざします。

自然環境との共生

本市は、六甲・長尾山地の山並み、そこから市街地の中央を流れる武庫川、山に囲まれた田園集落などの水と緑に恵まれた豊かな自然によって形成されています。

これら貴重な資源のもつ魅力を生かすとともに、環境への配慮や災害に強い都市づくりを進めることにより、自然環境と共生した都市をめざします。

2. めざす都市構造

本市では、これまで鉄道駅周辺に都市機能が集積したコンパクトな南部地域、豊かな自然環境と田園環境を有する北部地域から構成する都市構造を形成してきました。

今後は、人口減少や少子高齢化が進行する中でも暮らしやすく、地域の特性に応じた都市づくりを進めながら、これまでの都市構造を継承します。

(1) 土地利用

南部地域（南部市街地・市街地周辺緑地）、北部地域のメリハリがある土地利用をめざします。

①南部地域

ア 南部市街地

一定の人口密度を維持し、利便性や身近に緑があるなど質の高い住環境を維持するとともに、地域の特性に応じた市街地をめざします。

イ 市街地周辺緑地

市街地の無秩序な拡大を防止し、ゆとりとうるおいのある都市景観を形成する重要な緑の空間として保全・活用します。

②北部地域

本市全体としての資源である豊かな自然環境や田園環境を適切に保全するとともに、地域資源を生かした魅力的なまちづくりをめざします。

(2) 拠点

南部地域については、鉄道駅周辺を主な拠点に、北部地域については、西谷庁舎周辺と北部地域の玄関口である宝塚北 SA・SIC や武田尾駅を拠点に位置づけ、地域の特性に応じた拠点形成をめざします。

①南部地域

ア 都市拠点：JR・阪急宝塚駅～宝塚南口駅

商業、文化芸術、観光などの多様な機能が集積し、市内外の人々が様々な活動や交流ができる、都市全体の魅力と活力を支える拠点をめざします。

イ 地域拠点：仁川駅 / 小林駅 / 逆瀬川駅 / 清荒神駅 / 売布神社駅 /

中山寺駅～中山観音駅 / 山本駅 / 雲雀丘花屋敷駅

鉄道駅を中心に生活利便機能や多様なライフスタイルを実現する機能が集積し、後背圏の生活を支える拠点をめざします。

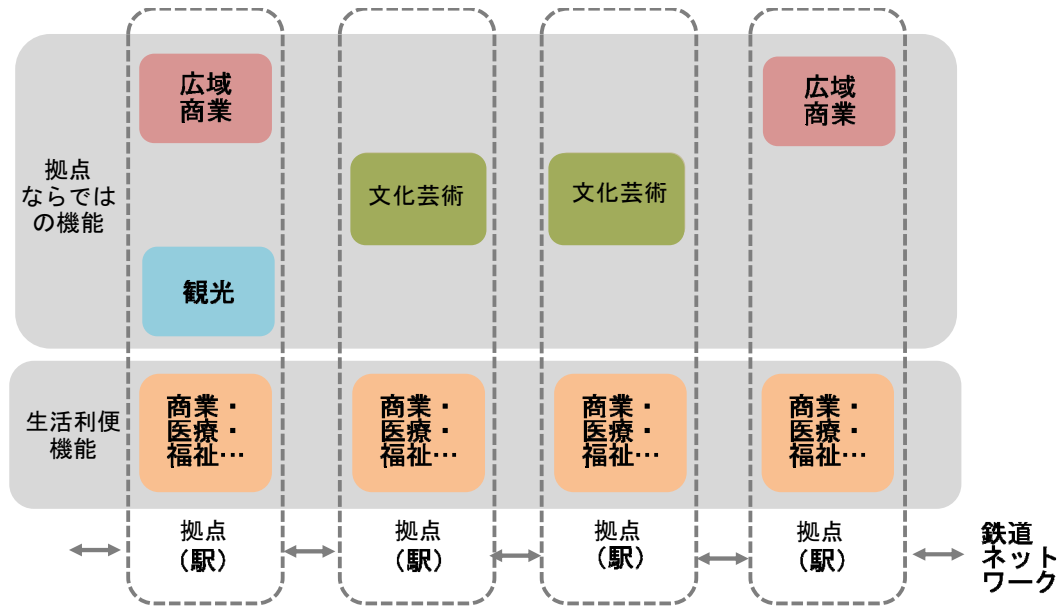
ウ 生活拠点

山麓部の住宅地における身近な拠点として、生活利便機能を提供する拠点をめざします。

エ シビック拠点：市役所周辺

市役所をはじめとする公共公益機能や健康・スポーツ機能が集積し、市民の暮らしをサポートする拠点をめざします。

＜拠点における機能集積のイメージ＞



②北部地域

ア 北部地域拠点：西谷庁舎周辺

公共公益機能が集積し、地域の生活を支えるとともに、市内外の人々が交流できる拠点をめざします。

イ 広域交流拠点：宝塚北 SA・SIC / 武田尾駅

自然環境の保全に配慮するとともに、他地域から訪れる人々との交流や北部地域の玄関口として、ふさわしい拠点をめざします。

(3) ネットワーク

①交通ネットワーク

鉄道などで各拠点を結び、それをバスや新たな移動手段が補完し、誰もが安全・安心に移動できる交通ネットワークの形成をめざします。

②水と緑のネットワーク

六甲・長尾山地の山並みと武庫川を水と緑のシンボルとし、水辺と緑が身近に感じられる、ゆとりとうるおいのある都市環境の形成をめざします。

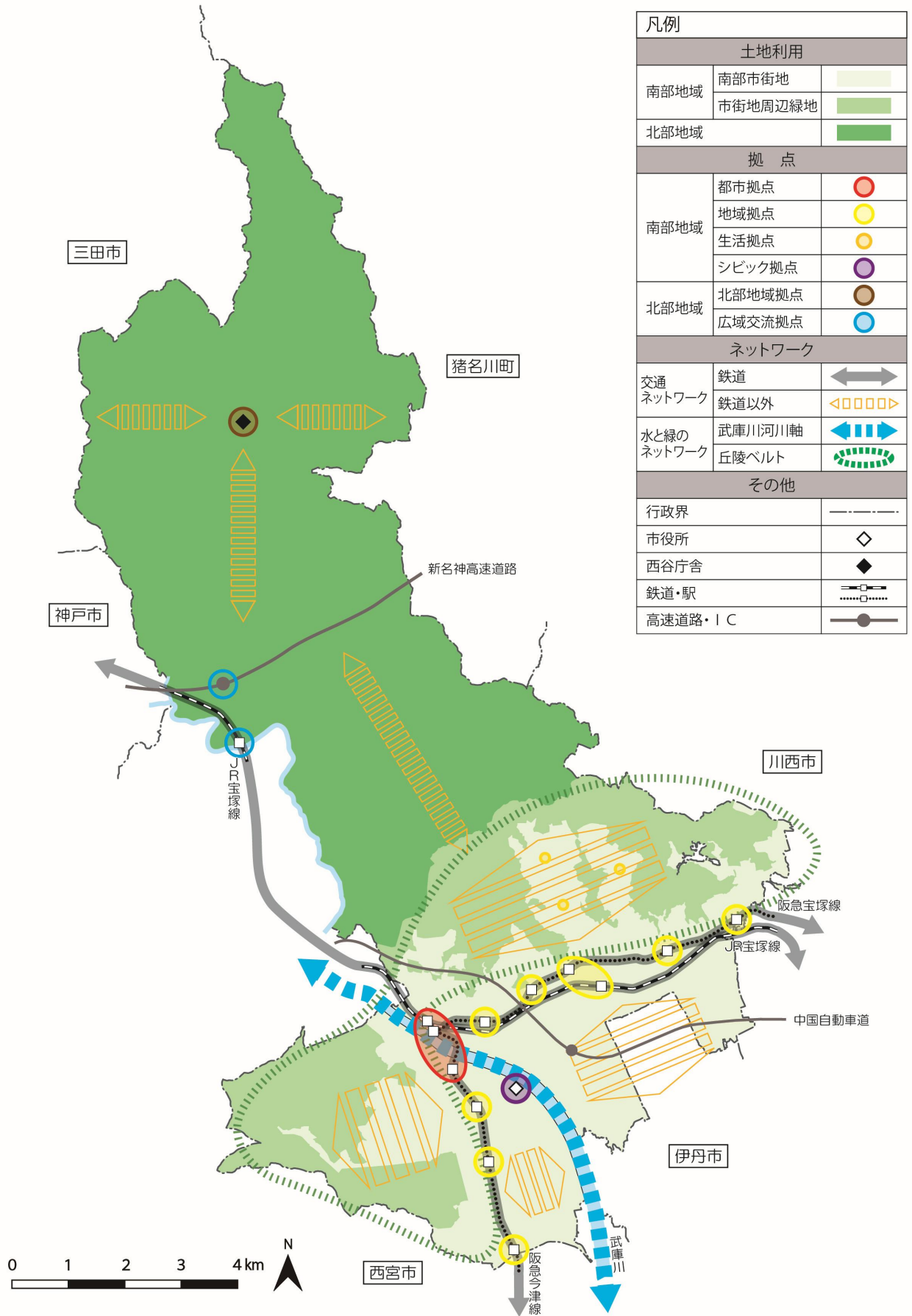
ア 武庫川河川軸

六甲・長尾山地から市街地に流れる武庫川を武庫川河川軸として位置づけ、河川水辺空間の活用を推進し、市民の憩いの場となる都市空間の形成をめざします。

イ 丘陵ベルト

六甲・長尾山地の丘陵地である市街地周辺緑地と山麓部の住宅地を丘陵ベルトとして位置づけ、緑地とゆとりある住宅地が調和した良好な住環境と本市を特徴づける景観の形成をめざします。

■ 将来都市構造図



3. 都市づくりの方向

(1) 多様なライフスタイルが実現できる都市づくり

成熟都市へと転換していく中、人口減少・少子高齢化の進行を適切に捉え、様々な人が活動・活躍し、幸せに住み続けられることが重要です。

豊かな居住環境、多彩な文化芸術、北部地域の田園環境などのストックを有効に活用し、あらゆる人が多様なライフスタイルを実現できる都市をつくります。

(2) 住まいとしての魅力が感じられる都市づくり

新型コロナ危機を背景に加速したテレワークや、子育てや介護しながら住まいの近くで働く暮らしなど、住まいやその周辺での過ごし方は変化しており、居住環境の豊かさは落ち着いた住空間だけでは評価できなくなっています。

これまでの居住環境を維持するとともに、住まいの近くで働ける、楽しみのある暮らしができるなど、新たな住み方への対応を市民、民間事業者とともに進め、住まいとしての魅力が感じられる都市をつくります。

(3) 様々な活動が展開される訪れたい魅力ある都市づくり

本市は、多彩な文化芸術や豊かな自然など他にはない重層的で多様な魅力のあるところが特徴であり、その魅力を市民や来訪者が享受することが重要です。

本市の多様な魅力を生かし、来訪者も含めた多様な主体による様々な活動や交流が展開されることで、文化芸術都市としてシビックプライドを育み、訪れたい、過ごしたいと感じられる魅力ある都市をつくります。

(4) 緑豊かな環境が持続する都市づくり

南部地域の市街化区域内農地、市街地周辺緑地の六甲・長尾山地、北部地域の山々や田園集落などの豊かな緑、武庫川を中心としたうるおいが感じられる空間など、緑に恵まれた環境は本市の重要な資源です。

本市の魅力の一つとしてこれらの資源を守り続けるとともに、積極的かつ多面的に活用することで価値を高め、緑豊かな環境が持続する都市をつくります。

(5) 安全で安心な暮らしが実現できる都市づくり

全国的に大規模災害が頻発し、被害が甚大化する中、本市では地形を要因とする災害リスクの高い場所があります。これらを踏まえた取組が求められる一方、豊かな居住環境を形成するために整備を進めてきた道路、公園、公共建築物などの既存ストックの老朽化が進んでいます。

既存ストックの適切な維持・管理とともに総合的な防災・減災の取組を進めることなどにより、安全で安心して暮らせる都市をつくります。

(6) 多様な主体の協働による都市づくり

成熟社会・人口減少社会の中、多様な主体が連携・参加する協働により、地域の特性を生かすとともに、都市づくりの課題にきめ細やかに対応し、地域の価値を維持・向上させることが重要です。

市民、民間事業者、行政などの多様な主体の協働により、地域の特性が生かされ、地域の価値が維持・向上する持続的な都市をつくります。